令和２年度　日野市立旭川小学校経営重点計画　　自己評価シート　　令和2年4月作成

★学校の教育目標　◎すすんで学ぶ子　○からだをきたえる子　○思いやりのある子　○最後までやりぬく子

★目指す学校像（ビジョン）

【めざす児童・生徒像】　①自ら命を守る。自ら学び意欲をもつ児童。自ら思いだす意欲を感じる。相手の、表現力を生かし、様々な人との対話や情報等を活用して現実感を味わう。豊かに学ぶ。理解解釈をしていく児童。②自らすすんで、基本的な生活習慣を身をもって。健康の維持・清潔や体力の向上に取り組む。③「いのち」の尊さを感じる。自分も他人も大切にする児童。④相手意志に向かって考えを示し合う。今、やるべきことを丁寧に最後まで実行していける児童。

【めざす学校像】　①一人一人の児童理解に努め、児童の思いに寄り添い、児童のよりよい成長を目指す教育を実践する。②子どもが明朝いいのアンケートを活用して、つらい思いや、苦しい思いをしているケース等を拾いとり、学校いじめの基本方針に基づき、スクールカウンセラーを活用し、対応、指導の充実を図る。③危機管理・安全指導計画に基づき、学校、地域における安全確保の徹底と児童自身の安全に関する意識の向上を図る。

【めざす教師像】　①教師として、自分の「いのち」を大切にしながらどうあるべきかを考え、行動で示す。②豊かな人間性の育成を図る教育を推進する。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		取組指標		成果指標	
いのち	○児童が教育活動を通して生命の尊さや生き方について実感し、考え深めることで、自他の「いのち」を大切にしようとする意識を高め、自制できる豊かな人間性の育成を図る教育を推進する。	●「生命の尊さ」を実感し、自他の生命を大切にしようとする思いや考えをもつことができる。 ●一人一人の児童理解に努め、児童の思いに寄り添い、児童のよりよい成長を目指す教育を実践する。 ●タイあい月間やいじめアンケート等を活用して、つらい思いや、苦しい思いをしているケース等を拾いとり、学校いじめの基本方針に基づき、スクールカウンセラーを活用し、対応、指導の充実を図る。 ●危機管理・安全指導計画に基づき、学校、地域における安全確保の徹底と児童自身の安全に関する意識の向上を図る。	◎「いのちの学習」全体計画、各学年の「いのちの学習」年間指導計画に基づき、各教科、道徳、行事等で計画的に教育活動を実践し自他の児童像を実践していく。PDCAサイクルに基づき、改善を図るとともに、創意工夫のあふれる「いのちの学習」を推進する。 ◎「特別の教科　道徳」の授業を年間計画に沿って、意図的、計画的に実践し、「考え、議論する道徳」の授業に取り組み、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ◎「いのちの尊重」を考える恐怖のこりも、児童の安全を守る安全点検、通学路点検、防災対策、交通安全教室、自転車安全教室、火災や地震・不審者対応等の避難訓練、セーフティ教室、防犯教室、地域安全マップの作成、事物先周防止教室等の取組。児童虐待防止研修セッションの活用、情報モラル指導や月１回の安全指導等を計画的に行い、安全管理と事故防止の徹底を図る。	4	１００％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4	１００％の児童が「生命の尊さを実感し、自他の生命を大切にしたい。」と答えた。
				3	９０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3	９０％以上の児童が「生命の尊さを実感し、自他の生命を大切にしたい。」と答えた。
				2	８０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2	８０％以上の児童が「生命の尊さを実感し、自他の生命を大切にしたい。」と答えた。
				1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が、８０％未満だった。	1	「生命の尊さを実感し、自他の生命を大切にしたい。」と答えた児童が８０％未満だった。
学び	○基礎的、基本的な知識・技能の定着と学び意欲の向上、思考力、判断力、表現力等の資質や能力の育成を図る。	●基礎的、基本的な知識・技能の習得と、学び意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力の育成を図る。 ●授業創造プランと放課後補習教室「ひつじ教室」の活用を図り、確かな学力の定着を推進する。 ●児童が学び合い、思考したいという気持ちをもちながら、一人一人の力を最大限に伸ばしていくことができる教育活動の推進を図る。 ●児童が自ら表現したいと思う授業を目指して、児童の思いや考えを引き出す学習指導の工夫を推進する。	◎各教科、領域等の年間指導計画に基づき、教育活動を意図的、計画的に推進する。 ◎授業のねらいを明確にし、ねらいを達成していくために一人一人、集団、授業構成、教材準備、板書等に創意工夫を図る。 ◎基礎的、基本的な知識・技能の定着のために、習熟の程度に応じた指導や補習学習、繰り返し学習等、一人一人の児童の実態に即した指導を行っていく。 ◎児童が自分の考えを伝え、話し合い、深め合うことを通して、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。 ◎児童が自ら課題を見付け、探究的に調べ、考えを深め合って解決していく問題解決学習の充実を図る。	4	１００％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4	１００％の児童が「自分の思いや考えをすすんで表現できた。」と答えた。
				3	９０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3	９０％以上の児童が「自分の思いや考えをすすんで表現できた。」と答えた。
				2	８０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2	８０％以上の児童が「自分の思いや考えをすすんで表現できた。」と答えた。
				1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が、８０％未満だった。	1	「すすんで学び、学習内容が分かり、できるようになった。」と答えた児童が８０％未満だった。
地域	○一人一人の児童に「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の生きる力をバランスよく育んでいくために、学校、家庭、地域社会が協働した教育活動を推進する。	●地域の自然環境や学校支援ボランティア、専門家等の人材を活用し、自然体験、生活体験、本物体験等の豊かな体験活動を実践し、児童が実感的に学び、豊かな学力を創意工夫する。 ●学校運営連絡協議会や保護者アンケート等の外部評価を活用し、家庭や地域の学校に対する多様な思いや願いを受け止め、学校教育の充実、改善を図る。 ●児童が地域に出て、地域の方々と活動することを通して、自己有用感を感じたり、地域で育み立てることを通じ、学び、自分の生き方を考えようしていけるようにする。	◎児童が豊かな学びを体験できるように、各学年、各教科等の年間指導計画等に基づき、外部専門家や学校支援ボランティア等を活用した教育活動を企画し、推進する。 ◎児童が学ぶ楽しさ、おもしろさを実感できる体験学習等ができるように、地域人材や自然環境やボランティア、専門家等の人材活用を図り、創意工夫した授業実践を行う。 ◎開かれた学校づくりを一層進めるため、学校の新鮮方針や実践活動等をホームページ学校ホームページや学校便り、学年便り等で発信する。 ◎児童が、地域やPTAのボランティア活動に参加し、社会に役立つ経験を通して、自己有用感を感じることができるようにする。 ◎児童が、地域の人とともに活動することで、社会性や地域に対する郷土愛を育む。	4	１００％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4	１００％の児童が「体験学習等を通して、学ぶ楽しさを感じた。」と答えた。
				3	９０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3	９０％以上の児童が「体験学習等を通して、学ぶ楽しさを感じた。」と答えた。
				2	８０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2	８０％以上の児童が「体験学習等を通して、学ぶ楽しさを感じた。」と答えた。
				1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が、８０％未満だった。	1	「体験学習等を通して、学ぶ楽しさを感じた。」と答えた児童が８０％未満だった。
健康・体力	○からだを鍛え、たくましく生きるための健康・安全や体力の向上を図る。	●オリンピック・パラリンピック教育を推進し、体育授業の充実を図る。 ●自らすすんで健康の増進と体力・運動能力の向上に努め、生涯を通じて運動やスポーツに親しむ態度を養う。	◎意図的に多種な運動を一定期間重点化し、アクティブタイム等活動から児童運動に親しむ機会を設定するとこで、日常的に体力向上と健康増進を図る。 ◎家庭や地域と連携して、望ましい食習慣や基本的な生活習慣の確立、創意工夫な知らした食事の充実を図り、生涯にわたる健康づくりの基礎をつくる。	4	１００％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4	１００％の児童が「健康な生活をさせるための運動や食事をもかげている。」と答えた。
				3	９０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3	９０％以上の児童が「健康な生活をさせるための運動や食事をもかげている。」と答えた。
				2	８０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2	８０％以上の児童が「健康な生活をさせるための運動や食事をもかげている。」と答えた。
				1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が、８０％未満だった。	1	「健康な生活をさせるための運動や食事をもかげている。」と答えた児童が８０％未満だった。
特別支援	○多様な始者を受け入れ、一人一人に寄り添う特別支援教育を推進する。	●児童の教育的ニーズ応じた適切かつ効果的な特別支援教育の充実を図る。 ●全ての児童が参加し、力作を通じを体感できる授業の創造に努める。	◎支援委員会等の組織的な校内体制の充実、ステップ教室や」ソースルームの活用、関係機関との連携、就学支援シート、かしの杏シートの活用を図っていく。 ◎授業のユニバーサルデザイン化と目録スタンダードを基盤にした授業を実践する。	4	１００％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	4	１００％の児童が「児童一人一人が、大切にされている。」と答えた。
				3	９０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	3	９０％以上の児童が「児童一人一人が、大切にされている。」と答えた。
				2	８０％の教員が、具体的方策を意識して取り組んだ。	2	８０％以上の児童が「児童一人一人が、大切にされている。」と答えた。
				1	具体的方策を意識して取り組んだ教員が、８０％未満だった。	1	「児童一人一人が、大切にされている。」と答えた児童が８０％未満だった。

★重点計画の概要

①　生命尊重の精神を基盤とした、自他の生命を大切にする教育の推進。
②　確かな学力の定着と新たな学力の創造。
③　地域とともに創る教育の推進。
④　からだを鍛え、たくましく生きるための健康・安全や体力の向上。
⑤　多様な始者を受け入れ、一人一人に寄り添う特別支援教育の推進。

※評価指標・評価基準は、２の段階を現状としています。